

木の働きを調べてみよう

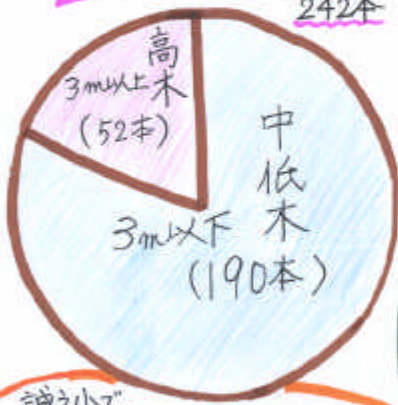
あおぞらこども
エコクラブ調査

みなさんは、木がどのような働きをしているか知っていますか？木にはたくさんの葉っぱがあって二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防いだり汚染ガスを吸収して空をきれいにしているそうです。そこで私たちは、誠之小学校に植えてある木の種類や太さ・長さをはかり、どれだけのCO₂を吸収しているかを調べてみることにしました。

葉っぱは
CO₂の処理工場



誠之小の木の本数 242本



① 葉っぱが吸収するCO₂の量
木の太さ・長さ・種類によって吸収量が決まっています。242本をあてはめて計算すると、**45,596kg/年**のCO₂を吸収していることがわかりました。



わからない樹木の名前を県立博物館に聞いて教えてもらいました。

③ ①と②を比べてみると、葉っぱに吸収されるCO₂量より発生するCO₂量の方がはるかに多く、校内にある樹木では吸収することができず、まだ**今の5倍くらい**の樹木が必要だとわかりました。

② 次に誠之小学校内ではき出されるCO₂の量を調べました。
 ☆ 学校全員のはきだすCO₂!
 児童・先生 450人で **162,000kg/年**
 ☆ 学校が使うエネルギーによって発生するCO₂!
 H.12年 6月
 ・電気 99.08kwh ⇒ 4360kg
 ・ガス 200m³ ⇒ 1320kg
 ・水道 198m³ ⇒ 119kg
 5799kg
 年間になると 5799 × 12ヶ月 = **69,588kg/年**

④ 全国各地でいろいろな開発のために森林が切りたおされていますが、それは地球のためにはとても危険なことだとわかりました。もっともっとみなさんにも木の働きや大切さをわかってもらいたいと思います。**豊かな緑は地球を守る!!**



開発のため...

三重県 久居市
あおぞらこども
エコクラブ
1班